Pioneer

インテグレーテッドアンプ

A-30
A-10

もくじ

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

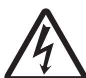


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

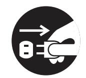
絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



異常時の処置



- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置



- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→ あおむけや横倒し、逆さまにする。
→ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→ じゅうたんやふとんの上に置く。
→ テーブルクロスなどをかける。



- **着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：**付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。



- 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境



- この機器に水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法



- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



設置



- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）



- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



- 本機の上にテレビやオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。



- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法



- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



- 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。



- 旅行などで長期間ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 小さな部品はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師にご連絡ください。

電池



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 電池を機器内に挿入する場合､極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂､液漏れにより､火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。



- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検



- 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の使用環境について

本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃､使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。

風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所､直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_A1_Ja



高温注意
触れない

(A-30のみ)
本機は連続動作していると､内部の放熱板を覆うキャビネット天面が熱くなります。

はじめに

付属品を確認する

- リモコン × 1
- 単４形乾電池 (AAA/R03) × 2
- 電源コード (A-30 のみ)
- 保証書
- 取扱説明書 (本書)

メモ
- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なることがあります。
- 本書では主に A-30 のイラストを使って説明しています。

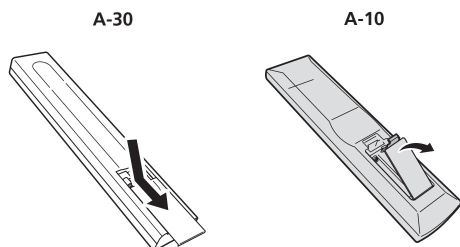
リモコンを使う前に

電池を交換するときは

電池は単４形乾電池 (AAA/R03) を使用します。

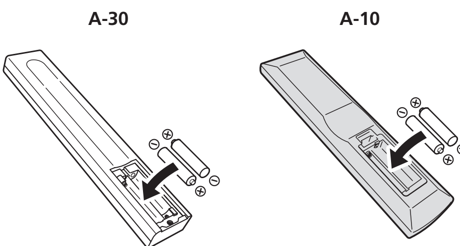
1　裏ブタを開く

A-30　　A-10



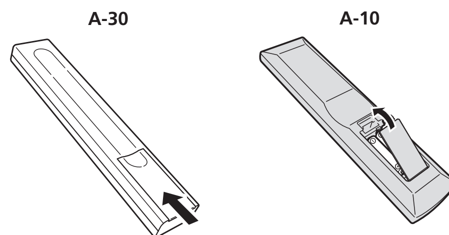
2　ケース内に表記されている極性に合わせて乾電池を入れる

A-30　　A-10



3　裏ブタを閉める

A-30　　A-10



本機に付属の電池は動作確認用のため、短期間で寿命となることがあります。電池を交換するときは、長期間使用可能な市販のアルカリ電池をお勧めします。



警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。



注意

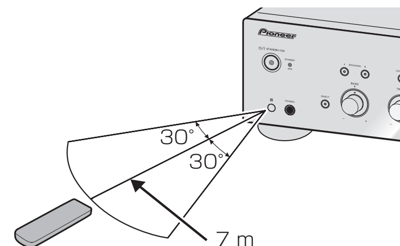
電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂したりする危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

- 電池でリモコンのマイナス端子を押し曲げないようにしてください。電池がショートする可能性があります。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間 (1 か月以上) 使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従ってください。

リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、下記の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。



本機を設置する

本機を設置するときは、必ず平らで安定した面に設置してください。

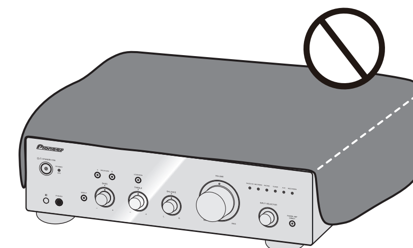
- 次のような場所には本機を設置しないでください。
  - テレビの上 (映像が歪むことがあります)
  - カセットデッキまたは磁気を発する機器の近く (音声に悪影響を与えることがあります)
  - 直接日光のあたる場所
  - 湿気のある場所
  - 水がかかりやすい場所
  - 高温または低温の場所
  - 振動のある場所
  - ホコリやタバコの煙の多い場所
  - 台所など煙が出たり油を使用する場所
- ソファーなどの吸音性がある素材の上に本機を置くと、正しい音質が得られないことがあります。

設置について

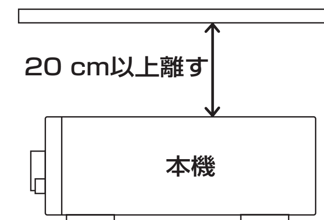


注意

- 放熱のため、本機の上に物を置いたり、布やシートなどを被せた状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。



- 本機を設置する場合には、壁から 10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 20 cm以上、背面から 10 cm以上、側面から 10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



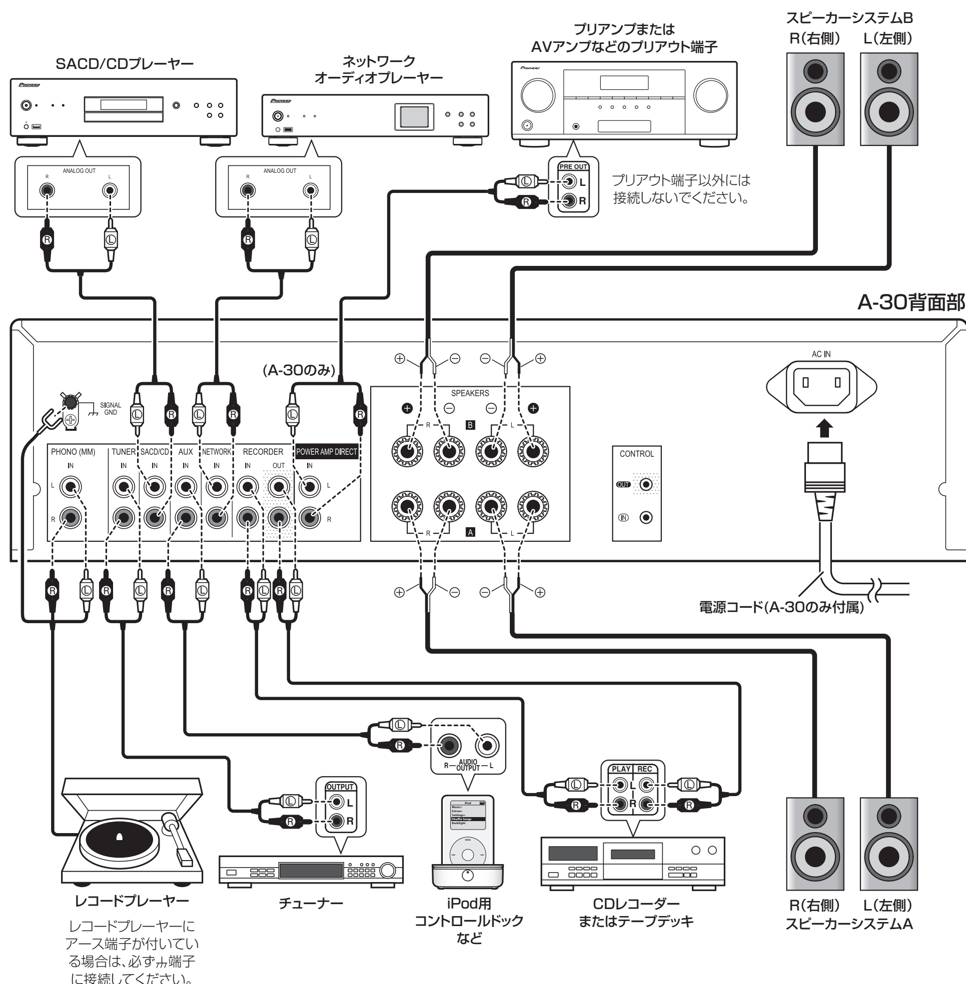
接続する

接続図


注意

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

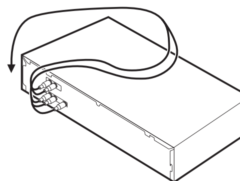
⏚ 端子はアナログプレーヤーなどを接続した場合の雑音の低減を図るためのものです。



iPod は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。


注意

- PHONO 端子にレコードプレーヤー以外の機器またはイコライザー内蔵レコードプレーヤーを接続しないでください。大音量を出力し、スピーカーなどを破損する恐れがあります。
- 本機の PHONO 端子は、MM 型カートリッジのレコードプレーヤーに対応しています。MC 型カートリッジのレコードプレーヤーは再生できません。
- 下図のように、本機の上に接続コードを曲げて放置すると、電源トランスからの磁界の影響により、スピーカーからハムノイズが出る場合があります。接続コードはこのような状態にしないでください。



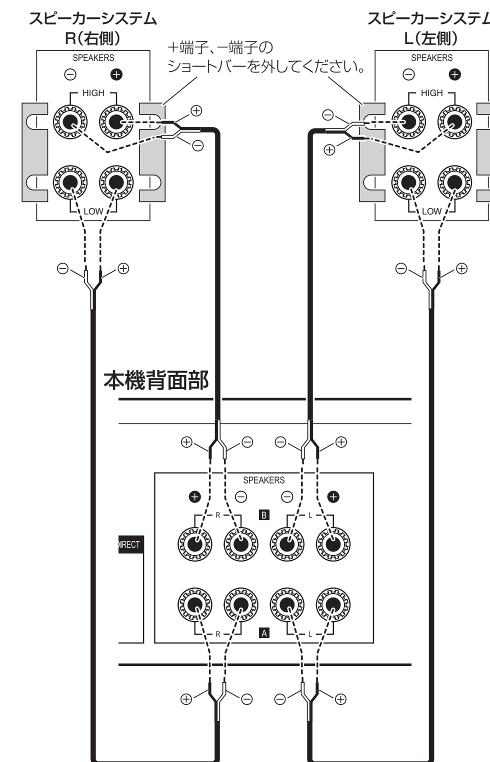

メモ

- カセットデッキを設置する場所によっては、再生したときに雑音などが発生する場合があります。これはアンプのトランスによるリーケージフラックス (漏れ磁束) の影響によるものです。このようなときには、設置する場所を変えるか、アンプから離して設置してください。

バイワイヤリング接続について

本機はバイワイヤリング対応スピーカーを接続できます。高域と低域を合わせて正しく接続してください。

- 再生するときは、SPEAKERS A ボタンと SPEAKERS B ボタンをオンにしてください (7 ページ)。




注意

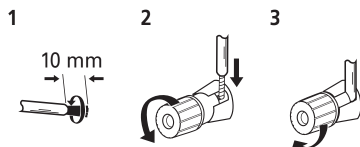
- スピーカーのバイワイヤリング接続をするときはアンプへの悪影響を防ぐため、スピーカーに付属されている HIGH と LOW のショートバーは必ず外してください。詳しくはスピーカーの取扱説明書もご覧ください。
- ネットワークが着脱できるスピーカーの場合、ネットワークが外れた状態では効果が得られません。また、スピーカーを破壊してしまう可能性もありますのでご注意ください。
- SPEAKERS A 端子を HIGH、SPEAKERS B 端子を LOW にしても接続できます。

スピーカーコードのつなぎかた

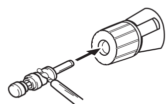
1 線をねじる

2 スピーカー端子を緩め、スピーカーコードを差し込む

3 スピーカー端子を締め付ける



・バナナプラグも接続できます。詳しくはプラグの説明書をお読みください。

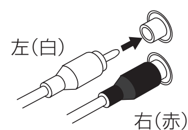


⚠ 注意

- **SPEAKERS A 端子または SPEAKERS B 端子のいずれか片方のみを使用するとき、またはバイワイヤリング接続するときは、公称インピーダンスが 4 Ω ～ 16 Ω のスピーカーをご使用ください。両方の端子を同時に接続するときは、公称インピーダンスが 8 Ω ～ 32 Ω のスピーカーをご使用ください。スピーカーの公称インピーダンスの値については、接続するスピーカーの取扱説明書をご覧ください。**
- スピーカーと本機の＋および－端子どうしを正しく接続してください。
- 端子からコードの芯線がはみ出して、他の芯線と触れないようにしてください。芯線どうしが触れていると、機器を故障させる恐れがあります。
- スピーカー端子には非常に高い電圧が出力されます。感電の危険を避けるため、スピーカーを接続する前に必ず電源コードを抜いてください。

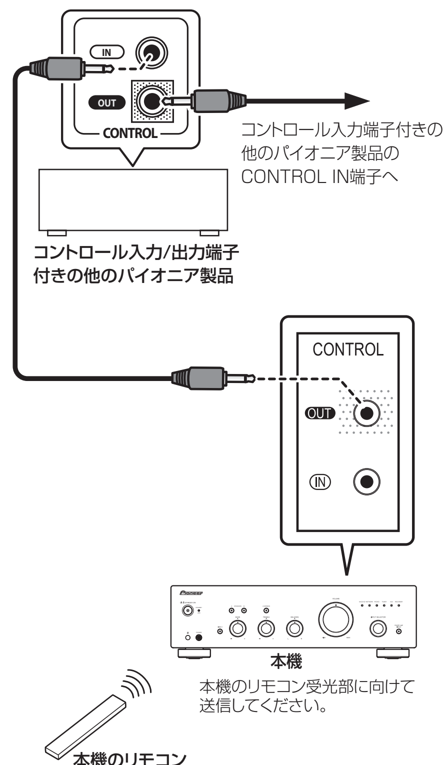
オーディオコードのつなぎかた

白いプラグは L(左) 端子、赤いプラグは R(右) 端子につなぎます。
必ず、奥まで差し込んでください。



他のパイオニア製品をつないで集中コントロールする (A-30 のみ)

コントロール入力 / 出力端子の付いた複数のパイオニア機器を、本機のリモコン受光部を使って集中コントロールすることができます。リモコン受光部を持たない機器や、受光部が信号を受けられないところに設置した機器もリモコン操作が可能になります。

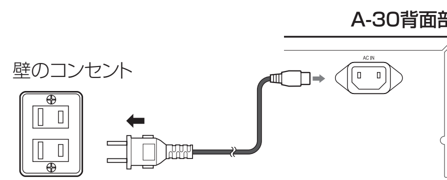


メモ

- 接続には市販のモノラルミニプラグコード (抵抗なし) をお使いください。
- コントロール端子の接続をする場合は、必ず市販のオーディオコード (アナログ接続) を接続してください。コントロール端子の接続だけでは、システムコントロールは正しく動作しません。
- 本機の CONTROL IN 端子にコントロールコードを接続すると、リモコンを本機に向けて直接操作することはできません (リモコン信号受光部が機能しなくなります)。

電源コードのつなぎかた

すべての接続が終了したら、電源コードを家庭用電源コンセント (AC 100 V) に接続します。



⚠ 注意

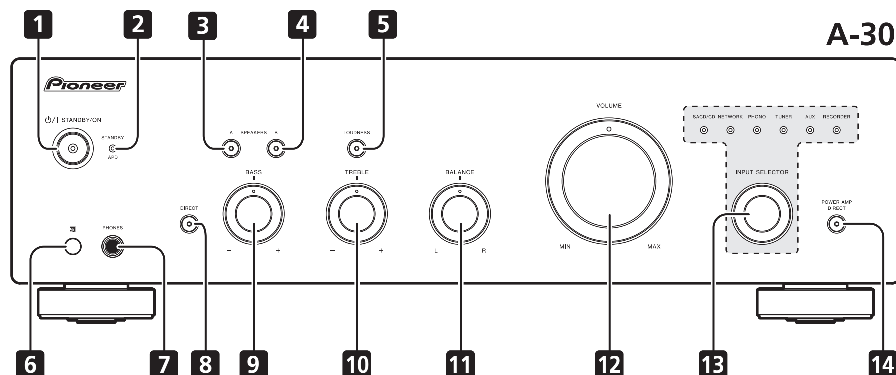
- A-30 の電源コードは着脱式になっていますが、付属しているコード (電流容量 10 A、本機側 2P プラグインソケット方式) 以外の電源コードはご使用にならないでください。

重要

- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず電源コンセントから電源コードを抜いておいてください。電源コンセントから電源コードを長時間抜いた状態にしていても、本機の各種設定は消去されません。
- 電源コードを抜くときは必ず本体前面部の ⏻/I STANDBY/ON ボタンを押して、A-30 は電源オフ、A-10 はスタンバイ状態にしてからコードを抜いてください。

各部のなまえ

本体前面部



1 ⏻/I STANDBY/ON
本機の電源をオン / オフにします。電源がオンのときは、ボタン中央のパワーインジケーターが点灯します。
- A-10 では、電源のオン / スタンバイ (待機状態) を切り換えます。

2 STANDBY/APD インジケーター
電源がスタンバイ状態のときに赤色に点灯します。オートパワーダウン機能がオンのときは、緑色に点灯します (11 ページ)。

3 SPEAKERS A ボタン / インジケーター
SPEAKERS A 端子に接続したスピーカーシステムのオン / オフを切り換えます。
オン (インジケーター点灯):
スピーカーシステム A から音が出ます。(ヘッドホン端子からも音が出ます。)
オフ (インジケーター消灯):
スピーカーシステム A から音が出ません。ヘッドホンを使うときはこの設定にします。

4 SPEAKERS B ボタン / インジケーター
SPEAKERS B 端子に接続したスピーカーシステムのオン / オフを切り換えます。
オン (インジケーター点灯):
スピーカーシステム B から音が出ます。(ヘッドホン端子からも音が出ます。)
オフ (インジケーター消灯):
スピーカーシステム B から音が出ません。ヘッドホンを使うときはこの設定にします。

5 LOUDNESS ボタン / インジケーター
小さな音量で聞くときに使います。
オン (インジケーター点灯):
低音と高音を増強し、小さな音量でも迫力のある再生音を聞くことができます。
オフ (インジケーター消灯):
通常はこの設定で使います。
- DIRECT ボタンがオンのときは働きません。
- 音量を上げるとラウドネスの変化量は小さくなります。

6 リモコン受光部
4 ページの「リモコンの操作範囲」をご覧ください。

7 PHONES 端子
ヘッドホンを使用するときに、プラグを差し込みます。POWER AMP DIRECT ボタンがオンのときは、音が出ません。

8 DIRECT ボタン / インジケーター
オン (インジケーター点灯):
各種調整回路 (BASS、TREBLE、BALANCE、LOUDNESS) を通さずに音声信号をダイレクトに出力します。より原音に忠実に再生できますが、低高音調整、ラウドネスおよびバランスは無効になります。
オフ (インジケーター消灯):
各種調整回路 (BASS、TREBLE、BALANCE、LOUDNESS) を通した音声信号を再生します。低高音調整、ラウドネスおよびバランスの調整ができます。

9 低音調整つまみ (BASS)
低音部の音質を調整します。
中央の位置が標準で右側に回すと低音が増加し、左側へ回すと減少します。
- DIRECT ボタンがオンのときは働きません。

10 高音調整つまみ (TREBLE)
高音部の音質を調整します。
中央の位置が標準で右側に回すと高音が増加し、左側へ回すと減少します。
- DIRECT ボタンがオンのときは働きません。

11 バランスつまみ (BALANCE)
通常は中央の位置にしておきます。片方のスピーカーからの音量が大きいときに、バランスを調整します。右側が大きいときには L(左) 側へ、左側が大きいときは R(右) 側へ回します。
- DIRECT ボタンがオンのときは働きません。

12 ボリュームつまみ (VOLUME)
音量を調整します。(ヘッドホンの音量も調整します。)

13 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR)/ インジケーター
再生する機器を選びます。選んだ機器のインジケーターが点灯します。リモコンの MUTE ボタンを押して消音しているときは、選んだ機器のインジケーターが点滅します。

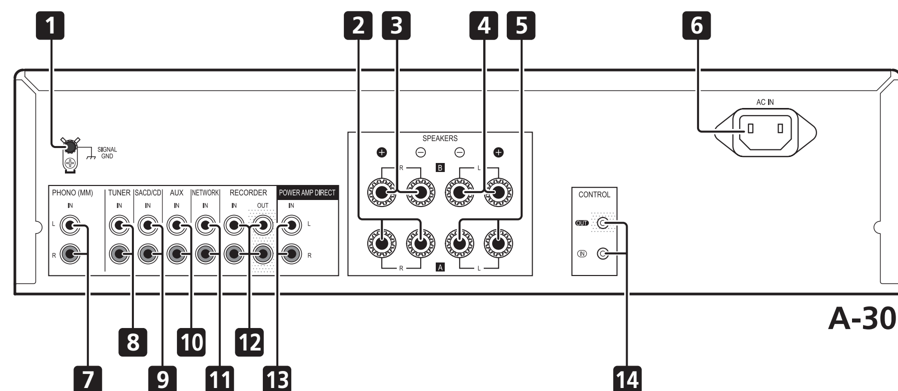
14 POWER AMP DIRECT ボタン / インジケーター (A-30 のみ)
本機をパワーアンプとして使うときに押します (10 ページ)。


注意

● 製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に容易に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

本体背面部

機器の接続については 5 ～ 6 ページをご覧ください。



1 PHONO 用 SIGNAL GND 端子
レコードプレーヤーなどを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

2 SPEAKERS A 端子 (R(右) チャンネル)

3 SPEAKERS B 端子 (R(右) チャンネル)

4 SPEAKERS B 端子 (L(左) チャンネル)

5 SPEAKERS A 端子 (L(左) チャンネル)

6 AC IN 端子 (A-30 のみ)
電源コードを接続します。

7 PHONO (MM) 入力端子

8 TUNER 入力端子

9 SACD/CD 入力端子

10 AUX 入力端子

11 NETWORK 入力端子

12 RECORDER 入力 / 出力端子

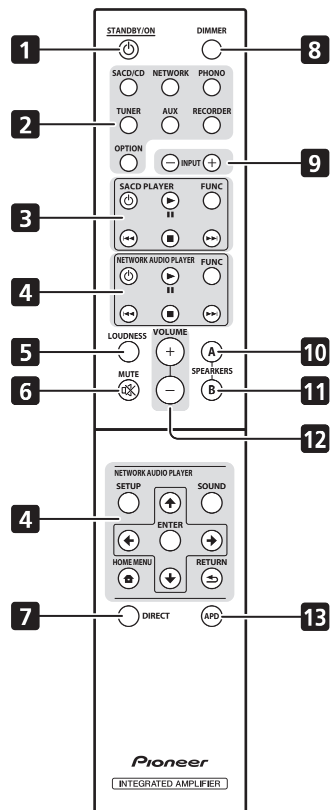
13 POWER AMP DIRECT 端子 (A-30 のみ)
本機をパワーアンプとして使うときに、プリアンプなどを接続します (10 ページ)。

14 CONTROL 入力 / 出力端子 (A-30 のみ)

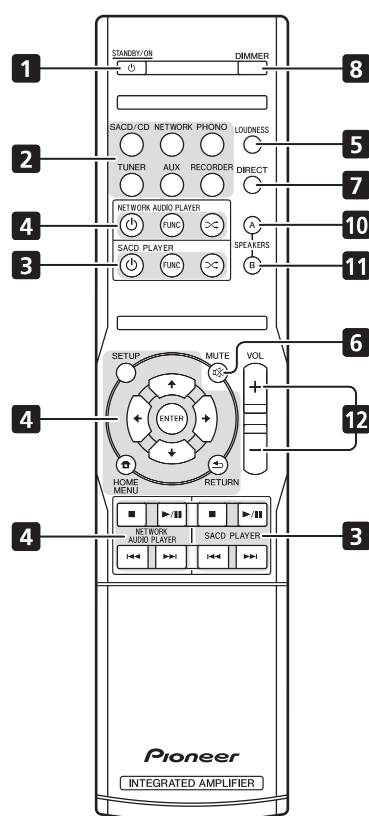
各部のなまえ

リモコン

A-30



A-10



1 ⏻ STANDBY/ON ボタン
本機の電源をオン/スタンバイ(待機状態)にします。

2 入力切換ボタン
本機の入力を切り換えます。
- A-30 では、OPTION ボタンは使用しません。

3 SACD プレーヤー操作ボタン
パイオニア製 SACD/CD プレーヤーを操作できます。

4 ネットワークオーディオプレーヤー操作ボタン
パイオニア製ネットワークオーディオプレーヤーを操作できます。

5 LOUDNESS ボタン
ラウドネスのオン / オフを切り換えます (7 ページ)。

6 MUTE ボタン
消音します。もう一度押すと解除されます。

7 DIRECT ボタン
ダイレクトモードのオン / オフを切り換えます (7 ページ)。

8 DIMMER ボタン
本体前面部のインジケーターの明るさを 3 段階で切り換えます (STANDBY インジケーターを除く)。

9 INPUT +/ −ボタン
本機の入力を下記の順に切り換えます。
SACD/CD → NETWORK → PHONO → TUNER → AUX → RECORDER → (最初に戻る)

10 SPEAKERS A ボタン
SPEAKERS A 端子に接続したスピーカーシステムのオン / オフを切り換えます。

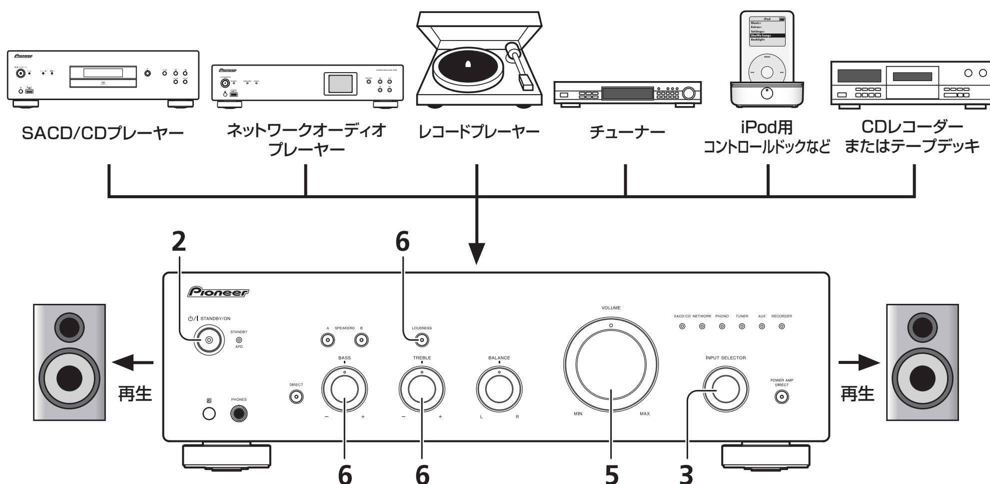
11 SPEAKERS B ボタン
SPEAKERS B 端子に接続したスピーカーシステムのオン / オフを切り換えます。

12 VOLUME +/ −ボタン
本機の音量を調整します。

13 APD ボタン
オートパワーダウン機能のオン / オフを切り換えます (11 ページ)。

操作のしかた

再生手順



1　再生する機器の電源をオンにする

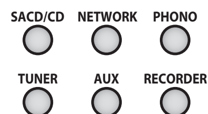
2　本機の電源をオンにする

ボタン中央のパワーインジケーターが点灯します。

- スタンバイ状態のときは、リモコンの ⏻ STANDBY/ON ボタンを押します。



3　再生する機器に合わせて、入力を切り換える

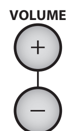


再生する機器を選びます。

- A-30 では、リモコンの INPUT +/ －ボタンを押しても選べます。
- 本体前面部で操作するときは、入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) を回します。

4　再生する機器を操作して、再生を始める

5　音量を調整する



6　高音、低音調整つまみ、LOUDNESS ボタンで好みの音質に調整する。

DIRECT ボタンがオンのときは、これらの調整はできません。

電源をスタンバイ状態にする

1　リモコンの ⏻STANDBY/ON ボタンを押す



次回電源をオンにするときは、リモコンの ⏻ STANDBY/ON ボタンを押します。

- A-30 では、本体前面部の ⏻/I STANDBY/ON ボタンを押すと、電源がオフになります。電源がオフのときにリモコンの ⏻STANDBY/ON ボタンを押しても、電源はオンになりません。

メモ

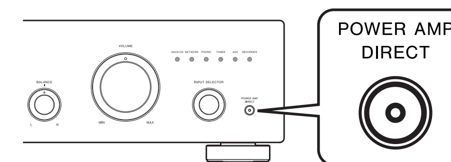
- 本機がスタンバイ状態のときに電源コードを抜いて電源をオフにした場合、再び電源コードを差しても電源はオンになりません。電源コードを差したあと、リモコンの ⏻STANDBY/ON ボタンを押して、電源をオンにしてください。

本機をパワーアンプとして使う (A-30 のみ)

本機の POWER AMP DIRECT 端子にプリアンプなどを接続して、本機をパワーアンプとして使えます。

1　本体前面部の POWER AMP DIRECT ボタンを押す

POWER AMP DIRECT インジケーターが点灯します。

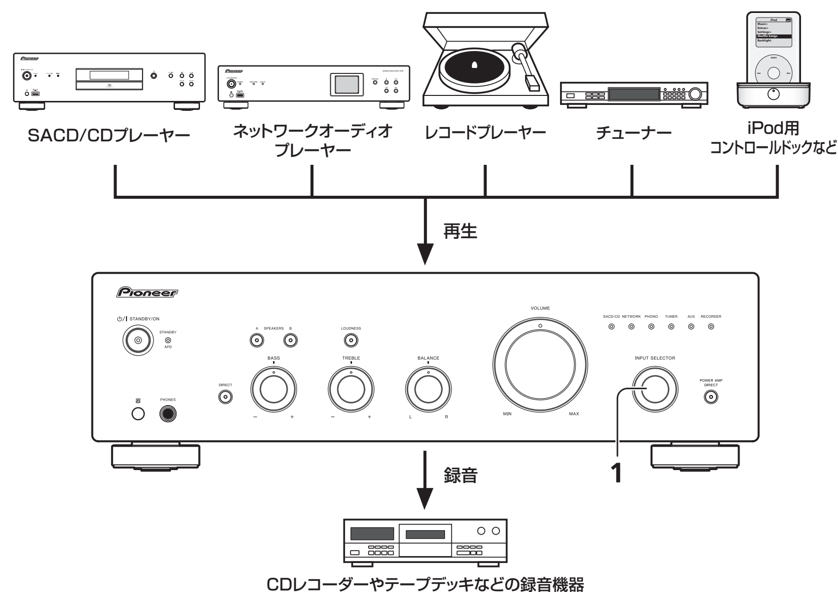


⚠ 注意

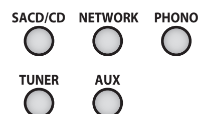
- POWER AMP DIRECT インジケーターが点灯しているときは、下記の動作になります。
  - — 本機で音量、低音、高音、バランスの調整はできません。本機の POWER AMP DIRECT 端子に接続した機器で調整してください。
  - — PHONES 端子、RECORDER 出力端子から音声は出力されません。
- 本機の POWER AMP DIRECT 端子に接続した機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

録音する

接続した機器を RECORDER 出力端子に接続した CD レコーダー、テープデッキなどで録音できます。



1 再生する機器を選ぶ

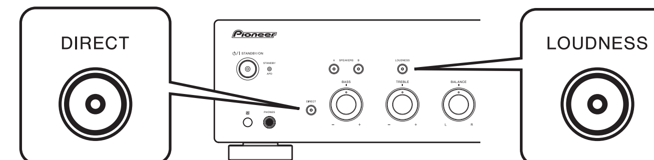


2 再生機器と CD レコーダー、テープデッキなどを操作して録音を始める

自動で電源をスタンバイ状態にする（オートパワーダウン）

無信号、無操作で 30 分何も操作しないときに、本機を自動でスタンバイ状態にできます。

1 電源がオンのときに、本体前面部の DIRECT ボタンと LOUDNESS ボタンを同時に 3 秒間押す



オンに設定すると本体前面部の STANDBY/APD インジケーターが緑色に点灯します。再度押すとオフに設定されます。

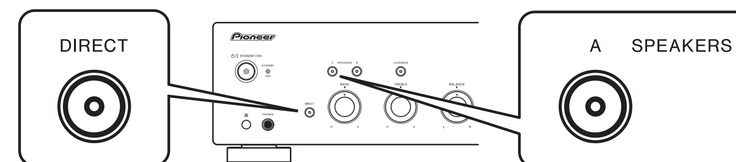
- A-30 では、リモコンの APD ボタンでも設定できます。
- お買い上げ時の設定はオフです。
- 低音、高音調整つまみ、バランスつまみ、およびボリュームつまみを回しても、操作したことにはなりません。

メモ

- 接続された機器によってはノイズが大きいなどの理由により、オートパワーダウン機能が動作しないことがあります。

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 電源がスタンバイ状態のときに、本体前面部の DIRECT ボタンと SPEAKERS A ボタンを同時に 5 秒間押す



2 電源をオンにする

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器もあわせてお調べください。以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い求めの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い求めの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
電源が入らない。	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？電源プラグを正しく差し込んでください。	6
	• 電源コードが、AC IN 端子から抜けていませんか？電源コードを正しく差し込んでください。	5
電源が切れる。	• オートパワーダウン機能がオンになっていませんか？自動で電源をオフにしたくないときは、オートパワーダウン機能をオフにしてください。	11
使用中に音声が出なくなり、STANDBY/APD インジケーターが約 1 秒間隔で赤色に点滅している。	• 本機内部の温度が上昇しているため、保護回路が働いています。 - 電源をオフにして、本機の温度が下がってから電源をオンにしてください。 - 本機を風通しのよい場所に設置してください。 - 正しく設置されているか確認してください。温度が下がらない状態で再び電源をオンにすると、同じ症状になることがあります。	4
使用中に音声が出なくなり、STANDBY/APD インジケーターが約 2 秒間隔で赤色に点滅している。	• 本機が対応していないインピーダンスのスピーカーを使用していませんか？スピーカーの公称インピーダンスを確認してください。	6
	• スピーカー端子からコードの芯線がはみ出して、他の芯線や本機背面部のパネルに接触していませんか？電源コードを抜いてから、スピーカーコードを接続し直してください。	6
電源を入れても、STANDBY/APD インジケーターが不規則に赤色で点滅している。	• 本機の回路が故障しています。電源コードを抜いて、お買い求めの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。	14
音が出ない。	• 接続コードが端子から外れている、または間違えて接続されていませんか？確実に接続してください。	5
	• 端子や接続コードのピンプラグが汚れていませんか？端子やプラグの汚れを拭き取ってください。	
	• 本機の入力切換は再生している機器と合っていますか？正しく切り換えてください。	10
	• MUTE ボタンがオンになっていませんか？オフにしてください。	9
片方のスピーカーから音が出ない。	• 接続コードやスピーカーコードの片方が外れていませんか？確実に接続してください。	6
リモコン操作ができない。（他機器をリモコンで操作できない。）	• リモコンに電池は入っていますか？または電池が消耗していませんか？電池の入れ方を間違えていませんか？電池を正しく入れてください。または新しい電池に交換してください。	4
	• 本機と距離が離れすぎていませんか？または角度が悪くありませんか？リモコンは本機との距離が約 7 m 以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ 30 ° 以内で操作してください。	4
	• 本機との間に障害物がありませんか？リモコンの操作場所を変えるか、障害物を取り除いて操作してください。	
	• 蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっていませんか？リモコン信号受光部に光が直接当たらないようにしてください。	
	• 他機器のシステムコントロールコードは接続されていますか？正しく接続してください。	6
A-30 で入力が切り換えられない。	• POWER AMP DIRECT がオンになっていませんか？本体前面部の POWER AMP DIRECT ボタンを押して、オフにしてください。	10

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書 (別添) について

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」(左記) に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」(裏表紙) をご覧になり、修理受付窓口にご相談ください。

本品は持ち込み修理対応製品です。

故障して修理をお受けになる場合は、修理受付窓口またはお買い求めの販売店に製品と保証書を持参してお申し付けください。なお、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代、または宅配便による引き取り回収修理の送料は、有料とさせていただきます。

ご連絡いただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：インテグレーテッドアンプ
型番：A-30/A-10
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容 (できるだけ具体的に)

保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

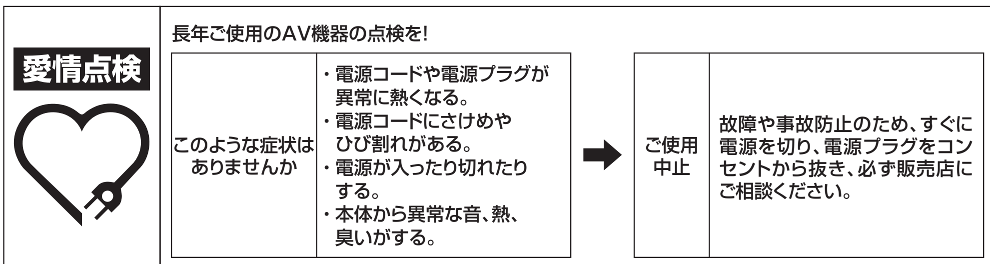
保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば、飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。 K041_A1_Ja

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。 S026_A1_Ja



K026*_A1_Ja

その他

仕様

アンプ部

定格出力 (両チャンネル駆動)

A-30 .... 70 W+70 W
A-10 .... 50 W+50 W
(歪率 0.1 %、20 Hz ～ 20 kHz、4 Ω)
A-30 .... 40 W+40 W
A-10 .... 30 W+30 W
(歪率 0.05 %、20 Hz ～ 20 kHz、8 Ω)

入力端子 (感度／入力インピーダンス)

SACD/CD、NETWORK、TUNER、AUX、
RECORDER .... 200 mV/50 kΩ
POWER AMP DIRECT(A-30 のみ)
.... 1 V/10 kΩ
PHONO (MM) .... 2.8 mV/50 kΩ

出力端子 (レベル／出力インピーダンス)

RECORDER OUT .... 200 mV/2.2 kΩ
PHONES .... 250 mV/32 Ω

周波数特性 (ダイレクトオン時)

SACD/CD、NETWORK、TUNER、AUX、
RECORDER .... 5 Hz ～ 100 kHz、$^{+0}_{-3}$ dB
PHONO(MM)........ 20 Hz ～ 20 kHz、± 0.5 dB

トーンコントロール (VOLUME － 30 dB 位置)

BASS .... ± 10 dB(100 Hz)
TREBLE .... ± 10 dB(10 kHz)

SN 比 (IHF A ネットワーク、ショートサーキット、ダイレクトオン時)

SACD/CD、NETWORK、TUNER、AUX、
RECORDER .... 105 dB
PHONO(MM、2.8 mV) .... 77 dB

スピーカー負荷インピーダンス

A, B .... 4 Ω ～ 16 Ω
A+B .... 8 Ω ～ 32 Ω
バイワイヤリング .... 4 Ω ～ 16 Ω

電源部・その他

電源 .... AC 100 V 50 Hz/60 Hz

消費電力
A-30 .... 165 W
A-10 .... 130 W
A-30/A-10 .... 0.3 W(待機時)

外形寸法 (幅) x (高さ) x (奥行)
.... 435 mm x 128 mm x 360 mm

本体質量
A-30 .... 7.9 kg
A-10 .... 6.8 kg

付属品

リモコン 1
単 4 形乾電池 (AAA/R03) 2
電源コード (A-30 のみ)
保証書
取扱説明書 (本書)

メモ

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品のお手入れについて

通常は柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると、印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

K023_A1_Ja



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞にはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

K021_A1_Ja

その他

サービス拠点のご案内　※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービス認定店）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆北海道サービスセンター	FAX	011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX	0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX	0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX	0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆東北サービスセンター	FAX	022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX	023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX	024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX	019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX	017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX	0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX	018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月～金　9:30～18:00　土　9:30～17:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX	03-5357-0770	〒156-0055	世田谷区船橋5-28-6　吉崎ビル1F
北東京サービスステーション	FAX	03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX	042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東･甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆関東サービスセンター	FAX	045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
☆千葉サービスステーション	FAX	047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
☆埼玉サービスステーション	FAX	048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
水戸サービス認定店	FAX	029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
宇都宮サービス認定店	FAX	028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX	0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX	025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
神奈川西サービス認定店	FAX	046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
松本サービス認定店	FAX	0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX	026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX	055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX	0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX	04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆中部サービスセンター	FAX	052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX	0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX	059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX	058-274-5256	〒500-8384	岐阜市薮田南4-2-10
静岡サービス認定店	FAX	054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-5-11
沼津サービス認定店	FAX	055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX	053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX	076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX	076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX	0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆関西サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0014	和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX	075-644-7975	〒601-8444	京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-50-0889	〒630-8141	奈良市南京終町1-174-2
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国･四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆中四国サービスセンター	FAX	082-534-5859	〒733-0003	広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-250-2724	〒700-0975	岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX	087-813-6112	〒760-0080	高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階107号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1 F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆九州サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-1-9　ヤマエ博多駅南ビル1F
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX	0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒861-2118	熊本市花立4-9-31
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0034	鹿児島市田上6丁目29-55

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービス認定店	TEL	098-987-1120	〒902-0073	那覇市上間413　琉電アパート1-5
	FAX	098-987-1121		

平成23年10月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHS・一部のＩＰ電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・ＩＰ電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　0120−944−222　一般電話　044−572−8102
■ファックス　044−572−8103
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（コ゛ーハ゜イオニア）　一般電話　044−572−8100
■ファックス　0120−5−81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair/
※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−987−1120
■ファックス　098−987−1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　一般電話　044−572−8107
■ファックス　0120−5−81096

平成23年10月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.046

JIS C 61000-3-2 適合品

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<CQX1A1642Z>